

ご相談は担当書記にご連絡ください
担当書記：工藤 真由 080-5699-0138
秋山 風夢 090-4246-1871
メール：kudou@doken-shibuya.jp
akiyama@doken-shibuya.jp

ほくぶの日々

発行：北部分会
編集：北部分会教宣部
住所：渋谷区幡ヶ谷2-18-6
電話：03-6304-2315

2026年 新年 号外 一緒にやろう北部分会

【北部分会
組織後継者対策部部长
岡安 共弘】

出身地は、東京都武蔵野市。亥年生まれの54歳です。

笹塚で勤務し18年が経過した昨年、この街（笹塚・幡ヶ谷）に恩返しがしたいと思い、ある方の紹介で「東京土建渋谷支部」の門をたたきました。

私が「東京土建渋谷支部」の皆様と一緒に活動をするようになり10カ月余りです。既に支部組織対策の副部長にもなりました。

役員になってみて

ハテハテ、なんのこっちゃですよね。

始めは、右も左も上も下も分からず（今でも分からず）ですが。

とにかく「まずは何でもやってみよう」と心に決めていたので、何でもやりました。

特に印象に残っているのが「リーダーのデモ行進」です。

今までは“対岸の火事”で、うるさいし、車も混むし、迷惑だなあと思っていました。

弊社のスタッフにも「岡安さん、あれやるんですか」

みたいな冷たい反応。

皆さんもきつと同じですよ。ね。

でも、実は意外と「くせ」になります。

そこではいろんな人の話が聞けます。

人がこの私たちの社会に何を想い、何を感じ、どう過ごしているのか。

今の不満はこれで、満足はこれ。

テレビやラジオなどでは伝わらない、現場の生の声です。

私もその時、今自分がいる環境や今やるべきこと、将来やらなければならぬことなど、少しですが認識することが出来ました。

さらに一緒に行進していると、かなり気持ちが盛り上がり、この思い（賃金アップや物価高騰、戦争反対など）を社会に自分が伝えなければならぬ、自分の周りの人間にも伝えなければいけない、という気持ちになりました。

イベントについて

また「住宅デー」というお祭り（もちろんお祭りではないですが、初参加の私にはお祭りのようなものでした）も参加しました。

事前に打合せを行い当日

に設営をしても、真剣だけに仲間たちが口論します。

でも「祭り」が始まれば皆が笑顔です。

やきそば、やきとり、ペンキ塗り、包丁研ぎなどなど。とにかく、運営している私が楽しいイベントでした。

年に数回バスでのレクリエーション（バス旅行）もあります。これは飲み会ですね。怒られますかね。

私が思う組合

結局、私が何を伝えたいかと言えば、「人と横の繋がり」をもてることです。

大人になると人との繋がりには概ね縦です。会社なんかは特にそうです。

東京土建の活動は仕事ではないので、皆仲間です。つまりは「横の繋がり」です。

「横の繋がり」って実は自分で切り開くのは難しく、誰かにその環境を造ってもらうケースが多いはず。もちろん、東京土建にも縦の繋がりもあるでしょう。

私も今は、東京土建が抱えている問題や、その仕組みの難しさ、世代交代のタスキなど、大変さがそこは分かれます。

しかし、基本仲間は「横」

です。

横の繋がり、自分の人生において長く続くものだと思います。

横の繋がりです仕事に結ぶつくこともあります。

まずは一緒に私と体験してみませんか。つまらなければやめてください。

「祭」面白いですよ。

人に喜ばれるのは気持ちいいです。

私は横の繋がりを大切にする、これが東京土建の使命だと思っています。

是非、一緒に横の繋がりを広げ仲間を増やしていきたい。ませんか。

現在、支部全体の組合人数も減ってきていますが、組合を運営する役員が少ないことが大きな問題になっています。

特に北部分会の役員不足は深刻です。住宅デーを行うには企画段階から分会役員の準備が必要で、当日は25〜30名のスタッフが必要です。バスレクや新年会の企画・支部の専門部の行事。分会を運営するための役員の仕事をこなすことが困難になりつつあります。

北部分会役員一同